

令和2年度 北海道 環境パートナーシップ研修

日時 令和2年6月19日(金)13:30~16:00

配信 オンライン会議システム「Zoom」を利用

対象 環境部門や企画部門を初めとした道内自治体職員

定員 20名
参加費 無料

持続可能な社会とは何か、その実現に向けてどのようなアクションが必要か。いまあらためて、こうした問いに向き合うことが、私たちに求められています。そこでこの研修では、道内自治体の職員の皆さんとともに、社会の大きな変化を見据えた今後の事業創出のヒントを得ることを目的として開催するものです。

研修はオンライン会議システムを用いて、レクチャーと個人ワークやグループでの対話を軸に進めていきます。SDGs（持続可能な開発目標）の基礎や本質的な考え方について確認し、解決すべき対象や問題をシステムとして捉える「システム思考」を体験することで、新しい地域社会、地域循環共生圏の構築に向けて不可欠な「同時解決」と「協働」について理解を深めます。

講師は今年3月に出版され、様々な自治体経営専門誌でも取り上げられている「SDGs×自治体 実践ガイドブック 現場で活かせる知識と手法」（学芸出版社）の著者でもある高木超さんです。ぜひご参加ください！



応募締切

6月15日

ご参加される皆さまに、研修の副教材として「SDGs×自治体 実践ガイドブック」を事前に送付させていただきます。



[講師]

●慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科
特任助教 高木 超（たかぎ・こすも）さん

[プログラム]

1. 開催趣旨説明
2. 講演「いま現場で活かしたい SDGs の本質」
3. 演習「地域課題を深く掘り下げる ～システム思考体験～」

お申し込み・お問い合わせ

イベント詳細を、EPO北海道ウェブサイトのイベントページ（<https://epohok.jp/event/11730>）でご確認の上、同ページのお申し込みフォームをご利用いただくか、必要事項をメールにてお知らせください。

●環境省北海道環境パートナーシップオフィス（EPO北海道）担当：溝渕

TEL：011-596-0921 FAX：011-596-0931 メール：epoh-webadmin@epohok.jp

[主催] 環境省北海道環境パートナーシップオフィス

[協力] 札幌市環境局 [後援] 北海道



EPO HOKKAIDO